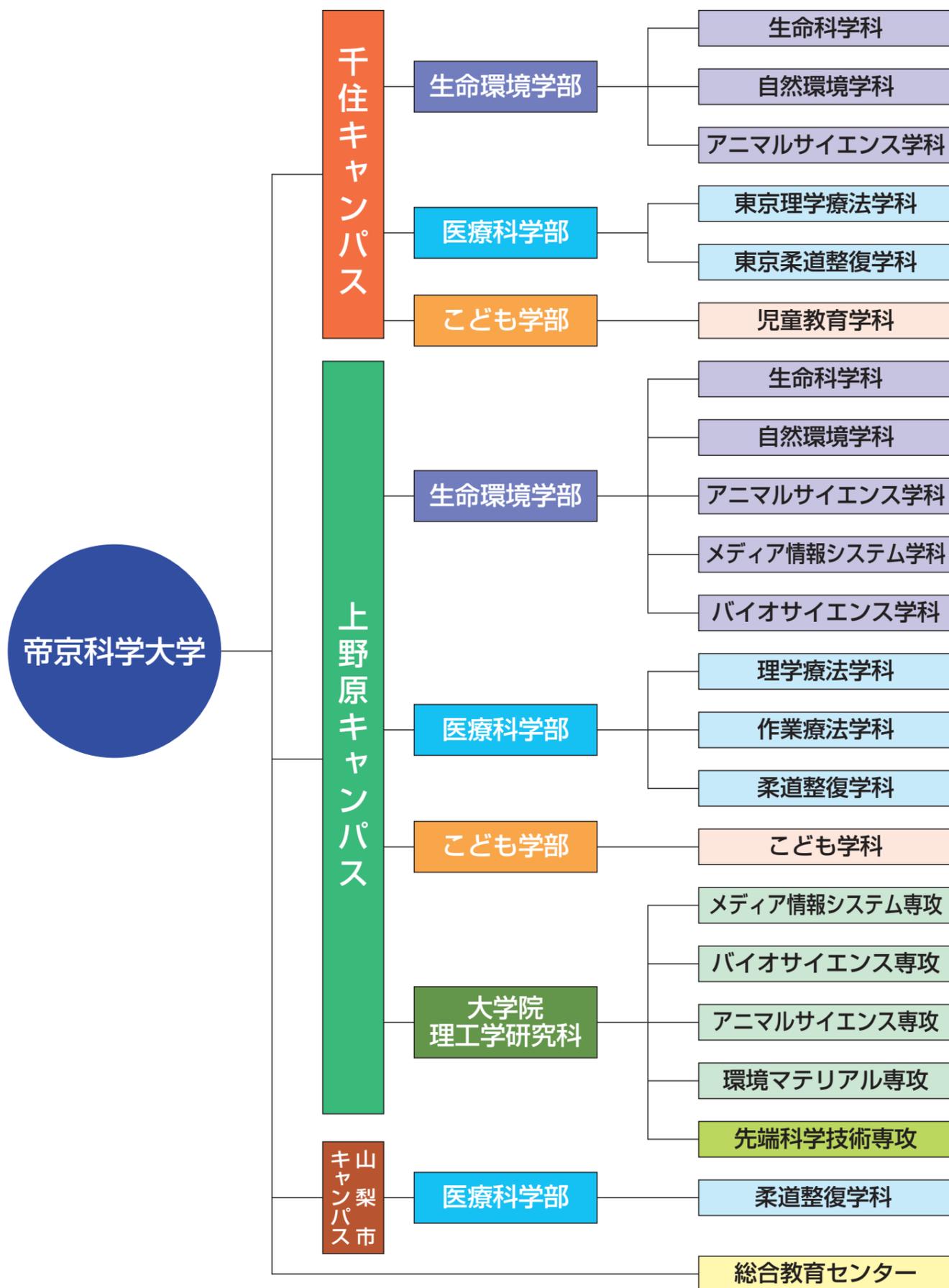




## CONTENTS

帝京科学大学教育研究組織図	2
ご挨拶	3
学部・学科紹介	4-8
卒業式・入学式／就職状況	9
キャンパス紹介／科大祭	10
新任・退任教員の紹介	11
公開講座のお知らせ／創立 20 周年記念学術講演会のご案内	12





20年の歩みを今後に

本年、本学は創立20周年を迎えました。これもひとえに保護者、卒業生、在学生、そして地域や大学関係者などの多くのみなさま方からいただいたこれまでのご支援の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

本学は、平成2年に理工系単科大学としてスタートし、その後、平成8年に帝京科学大学と改称、平成19年には生命環境学部と医療科学部が、そして平成20年にはこども学部が開設されました。さらに、本年4月には千住キャンパス、山梨市キャンパスが加わり、3キャンパス3学部10学科体制となりました。完成年度の学生総数は約4,700名となります。

ご承知のように高等教育機関を取り巻く環境は年々厳しさを増してきておりますが、これまでの20年の歩みを検証し、本学のモットーである、「いのちをまなぶキャンパス」を大切にしつつ、教育研究活動ならびに地域連携を推進して参る所存でございます。今後ともご支援ご鞭撻いただきますようよろしくお願い申し上げます。

この秋には創立20周年の記念学術講演会を準備しております。みなさま方とともにお祝いしたいと存じますので、ぜひとも多くの方々のご来場を心よりお待ちしております。

生命科学科

学科長 松岡 浩

21世紀は生命科学の時代と言われており、生命科学科は、生物の機能とその利用法の正しい理解、私たちの肉体的精神的な健康の維持、増進などに貢献することをめざした教育を行っています。本学科では1年次から生命科学の基礎である化学や生物学に関連した講義を聴いてもらいます。また、学外からの講師を招いてオムニバス形式の講義「健康・環境システムトピックス」(1年次)と「生化学とバイオテクノロジー」(2年次)を設けています。これら講義を受講することにより、学生にとっては早い時期から生命科学のおもしろさを知ってもらえるようにしています。また、1年次からの多くの実習を受けてもらうことにより、生命科学の不思議さ、面白さを学びとってもらえるとともに、社会に出てからも大学で得

た知識や経験が活かせるようにしています。

本学科は、この4月で開設3年目を迎えます。生命、健康、臨床工学の3コース制により生命科学の基礎から応用まで教育研究するのが本学科の特徴ですが、千住キャンパスの開校とともに、生命コースは千住・上野原両キャンパスに、健康コースと臨床工学コースは千住キャンパスに設置されています。



卒業研究最終発表会では、学生の研究内容が熱く語られました。

メディア情報システム学科

学科長 永沼 充

メディア情報システム学科は開学以来電子情報科学、メディアサイエンスと時代の要請に応じて名称を変え、本年、最後の学生を送り出そうとしています。4年前に新設した臨床工学コースは初めての卒業生を送り出し、受験生全員が国家試験に合格しました。このコースは生命科学科のコースとして引き継がれています。学科としては平成23年3月に終息する予定ですが、20年余にわたるエレクトロニクス・情報科学分野の有形無形の資産は本学の教育・研究の礎として貢献しています。



ロボット創造工房では競技会用ロボットの制作に励んでいます。

バイオサイエンス学科

学科長 松岡 浩

バイオサイエンス学科は、本学の設立以来20年間、本学とともに歩んできましたが、生命科学科に統合され平成20年度から学生募集を停止し、平成22年度は4年生を残すのみとなりました。ありがとうございました。バイオサイエンス学科は閉じられますが、その精神は生命科学科に受け継がれています。



卒業式―旅立ち

自然環境学科

学科長 栗林 清

本年4月に学科名が環境科学科から自然環境学科に変わりました。また、千住キャンパスでも本学科の学生募集が行われ、上野原キャンパスとのダブルキャンパスでの教育が開始されました。

自然環境学科では、座学だけでは把握しきれない環境を、野外に出て体験することにより深く理解しようという教育理念のもと、富士山に代表さ



雲海を望む富士山での野外実習。達成感も倍増した瞬間でした。

れる大自然と、東京に代表される大都会という地理的な利点を生かし、環境野外実習をさらに充実させようとしております。また、講義についても「生命と自然環境」をテーマに学生にとって興味を持てる多彩な科目を提供すると共に、環境を定量的に正確に評価するための基礎学問の充実を図っていく予定でおります。



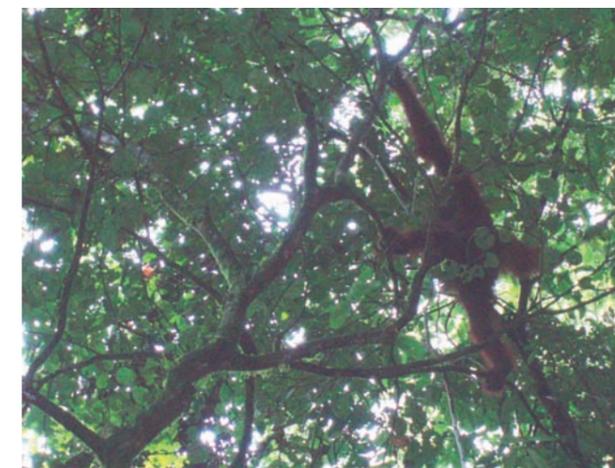
自然にふれあうことが対象物を身近に捉え、観察眼や探求心を養うことにつながります。

アニマルサイエンス学科

学科長 石田 戡

本学科は、動物に関する多様な問題をいろいろな角度から追求しています。人は動物なしには生きていけない存在であることが近頃ようやく実感される時代になってきました。野生動物の分野では、野生の動物を研究することから、そこから得た情報をインタープリター(解説者)として発信する方面へと広がりを見せています。ペットやコンパニオンアニマルの領域では、かれらへのち密なケアがより一層求められ、人に対するのとほとんど変わらない福祉が必要になっています。精神心理などでは、動物を介在させたセラピー(治療)や教育が有効性を増してきています。人の行動などを支援する介助動物とそのトレーニング、動物園や牧場での飼育技術なども注目を浴びている分野です。さらにこうした動物の取り扱いの背後には、民族、宗教、歴史などを踏まえた動物観が厳然と控えています。こうした動物と人のより細分化され高度化された関係を理解し、改善することがアニマルサ

イエンス学科の特徴です。それは極めて現代的な課題であり、そのため今の社会が何を求めているかをいち早くつかみ柔軟な対応で学問の新領域に立ち向かっているのがアニマルサイエンスなのです。



ボルネオでの現地実習で確認したオランウータン。野生動物の研究がさまざまな学問領域へ広がっていく。

理学療法学科

学科長 高橋 高治

医療科学部理学療法学科は、平成19年に開設され本年度4学年がそろいました。4年生は来年3月の理学療法士国家試験を経て、本学部初の卒業生(理学療法士)として社会に旅立つこととなります。入学してから、1,2年次の臨床見学実習(看護体験実習を含む)、3年次の後期に初めて患者様と対峙し、臨床実習指導者から直接指導を受けながらの評価実習と幾多の難関を乗り越えて、現在4年次の臨床実習に取り組んでいるところであります。この実習は、1期が8週間で3期設定されています。この中で2期を選択して16週間に亘り、病院またはクリニックにおいて患者様を直接治療する実習で、これまで学んできた知識・技術を統括する場でもあります。個々の学生の実習に取り組む姿は学内では見られなかったたくましさや

感じられます。臨床実習が終了すると、卒業研究、国家試験に向けての対策などまだまだ気の抜けない最後の正念場が控えております。教員一同は4年生全員が無事に理学療法士になることを願ひ応援しています。



臨床実習での歩行訓練の様子

作業療法学科

学科長 三上 眞弘

平成20年に作業療法学科がスタートし、今年は3学年まで揃いました。多くの学生を迎え作業療法学科は活気づいています。作業療法とは、私達が普段の生活で行う活動を分析し、それらの活動を用いて、健康の回復や維持を進める治療法で、リハビリテーションの一環としても知られています。事故や病気で身体や精神に障害をもつ方だけでなく、自閉症や学習障害などの子ども、お年寄りなど、生活に困難を感じるあらゆる層の人の「いきいきと生活すること」を援助する仕事です。本学では、豊富な選択科目、幅広い臨床経験をもつ作業療法士や医師の

教育陣の基で、豊かな人間性を持つ作業療法士を育みます。



基礎作業学実習での編み物



片手での調理実習

柔道整復学科

学科長 小野澤昭雄

柔道整復学科、山梨市キャンパスでは本年5月7日に新柔道場開きの式典を行いました。当日は大学関係者、工事関係者及び山梨市キャンパスで現在2年生の学生も参加して行われました。厳かの中に滞りなく式典が進められました。学生も緊張の中にも大変良い体験ができたと思います。柔道整復学科ではカリキュラムの中に柔道があります。柔道の経験がない学生も、ここの柔道場を使って柔の道を学びます。また、本キャンパスにて本年3月から工事が行われていました帝京科学大学附属接骨院が6月7日に完成しました。4年生になるとこの附属接骨院で臨床実習が行われ、

知識と実技を学び実践力をもった柔道整復師を目指していきます。これからも教員一同よりよい柔道整復師の育成に力を入れていきたいと考えています。



厳かで緊張感溢れる式典



玉串を捧げる2年生

東京理学療法学科

学科長 川井 伸夫

4月4日の武道館における入学式から本学科の歴史がはじまりました。新入学生は引続き行われたガイダンスや教員紹介に戸惑いながら、期待と不安の入り混じった中で授業がスタートしたことと思われます。大学生生活4年間の学習は1年次の過ごし方で決まるといっても過言ではありません。そこで、学生の学習をサポートすべく、専任教員全員が分担して少人数でのセミナーが行われています。また、8月と9月には臨床見学が予定されており、医療専門職のタマゴとしての認

識が試される最初の機会です。医療専門職への意識づくりもセミナーを通して行っています。本学科の専任教員は全13名で、そのうち9名が理学療法士の資格を有する教員で構成されています。皆、臨床あるいは教育に精通したベテラン揃いと自負しておりますが、教育水準は教員と学生との協業によって高まるものです。さらにいえば1期生が今後の本学科の水準を決めることになるのです。より高い水準を求めて1期生の学習への貪欲さの現われを期待します。



様々な意見を整理し、まとめる能力を養う。



各人が役割を果たすことの重要性を学ぶ。

東京柔道整復学科

学科長 志保井義忠

東京柔道整復学科は今春、他に類を見ない最新の実習および研究機器を備えた環境でスタートしました。本年9月には3号館に附属接骨院と柔道場が完成する予定です。

臨床のための実践技術、また、応用のための研究手法、そして、ひとを思いやる心や正しいことを貫く強い意志、物事に興味関心をもつ主体的な目など、臨床家、そして科学者として求められる人間性も同時に学んでいきます。

本学科は、『外傷(けが)の治療を科学する』というスローガンのもとに、自分で課題を見つけ、考え、検証し、実行するという独創的能力(芸術性と科学性)を身に付けた柔道整復師の養成を目標としています。4年間のカリキュラムでは、柔道整復師になるために必要な理論、実技はもちろんですが、

新しいことばかりで戸惑いがちだった1年生も、入学から2カ月半が経ち、見る間に臨床家のタマゴらしく凛々しくなってきました。包帯もだいぶ上手になりました。何事も積極的に参加し、自分を磨いていきましょう!



体のしくみを知るとすぐに試したくなる。



圧倒的な設備を誇る実習室での授業。

こども学科

学科長 飯島 勤

こども学科は、平成20年度に開設された、若い学科です。幼稚園や保育所等で活躍し、子どもの教育や文化の創造に寄与できる人材を養成しています。学科誕生の背景の一つに、動物やロボットを用いた独特の教育・研究実践を、近隣の小学校・幼稚園・保育所等で、数多く積み重ねてきた経緯があります。科学大学としての実績を、いかに活かしたわけですが、さらにまた理科系や文科系といった枠を超え、こども学という新しい学問を切り開こうとしています。

こども学科では、幼稚園教諭や保育士資格の取得の他に、4年制大学にふさわしい、幅広い知識と柔軟な発想をもった、専門的職業人の育成も心がけています。自然環境に恵まれた本学で、こども学科がめざす、「いのちの温もり」を感じることで、豊かな子どもの教育や文化の実現をめざし、学生と教職員が力を合わせてとりにくんでいます。



上野原市内の保育所における動物ふれあい教室



子どもたちも小動物に興味津々

児童教育学科

学科長 永沼 充

児童教育学科は小学校・幼稚園教諭を育成する小幼コースと幼稚園教諭・保育士を育成する幼保コースの2コースから成り立っています。上野原キャンパスのこども学科とともに、本学のこども学部として0才から12才までの連続した保育・教育分野に貢献できることとなりました。平成23年4月に着任する1名を加えて総勢16名の教員により本学の長を生かしたユニークな教育・研究を進めます。例えば、動物介在教育では学校飼育動物を介した地域の学校・園との連携活動を進め、学生の自主的な活動を特別実習I~IVとしてカリキュラムに組み込んでいます。また、科学に興味をもつ子どもを育てられるようロボット介在活動演習のような科目も準備しました。心理系の科目も多く配し、子どもたちの心のケアにも気を配っています。足立区教育委員会との連携による「あだち若手教員研鑽塾」は5月31日に開校式を行い

児童教育学科としての地域連携もスタートしました。研究面においても、いのち・環境・地域をテーマとした教育者育成カリキュラムの基礎研究に教育推進特別研究費によって、新しい器に充実した中身を醸そうと教員一同張り切っています。



初めてのオープンキャンパスを手伝う学生

卒業式・入学式

平成22年3月17日(水)、日本武道館にて平成21年度帝京大学グループ卒業式が厳かに挙行されました。本学からは学部生と大学院生の計456名が学舎を巣立っていきました。卒業生の方の明るい未来とご活躍を祈念しています。近況などを含め、大学にお立ち寄りください。



大きな希望を持って社会へと羽ばたいていきます。

平成22年4月4日(日)、日本武道館にて平成22年度帝京大学グループ入学式が晴れやかに挙行されました。本学では千住キャンパス409名、上野原キャンパス419名の計828名の新入生を迎えました。心より歓迎します。帝京科学大学の新しい歩みを一緒に作っていきましょう。



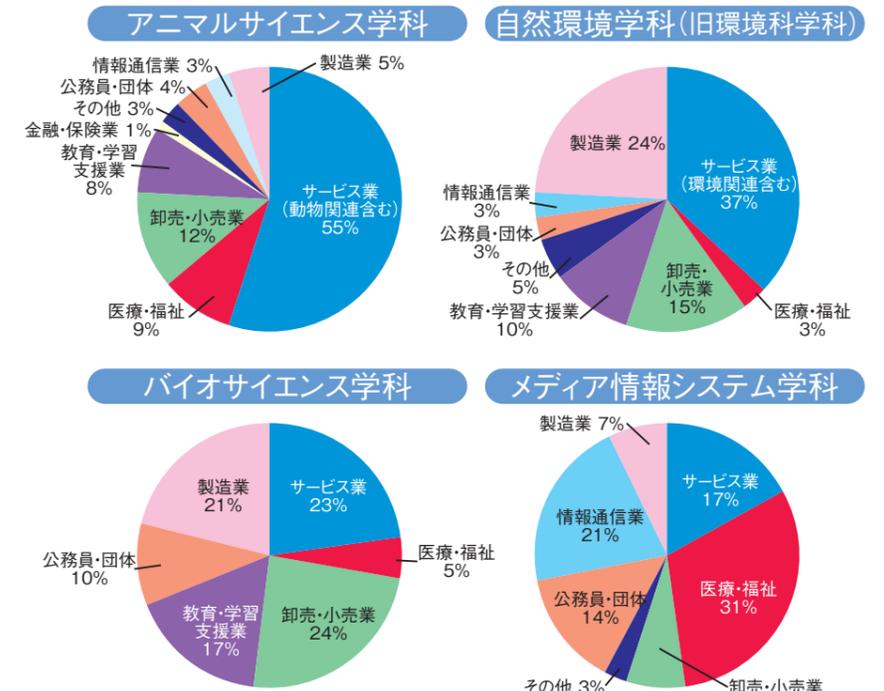
訓辞を学生生活の糧として勉学を積み重ねます。

就職状況

就職事務室

就職事務室では、キャリア発達の理論をもとに、質問紙によるアセスメントを用いた「自己理解」(自己分析)、「仕事理解」を大切に各種の行事を開催・計画しています。特に今年度は、企業の方のお話を聴く機会を増やすことで、学生のみなさんの「気づき」を大切にしています。また、産業カウンセラーやキャリア・コンサルタントなどの資格を持つ職員が対応する個別面談も一人当たり50分用意し、学生一人ひとりの相談にしっかりと応じています。今後は、3年次生の希望者には20名程度のグループをつくってもらい、「TEIKA就職塾(仮称)」として、このグループに対する就職支援を行っていく予定です。なお、求人情報については、インターネットや携帯電話からも確認できるだけでなく、新たに携帯電話からもエントリー(選考を受けたい、入社したいとの意思を示すこと)ができるシステムを導入しております。

ましたので、ご参加いただければ幸いです。卒業年次生のみなさんは、就職事務室にぜひ来てください。就職に不安や焦りがある時は私たちと話をしてみませんか。誰かに相談できる人は就職に有利というデータもあります。最後まであきらめしないで、私たちと一緒に考えていきましょう。また、就職事務室では来年の4月以降に良いスタートが切れるよう内定者向けの行事も計画しています。



# 千住・山梨市キャンパス紹介

レポーター：ニュースレター部会M

本年(平成22年)4月に千住キャンパスと山梨市キャンパスが開設されました。そこで千住と山梨市の両キャンパスを訪問しました!

## 千住キャンパス

北千住駅からバスで約5分(千住桜木下車)の距離で、バスの便数も多く便利です。時間に余裕のある人は日光街道に向かって商店街を歩くのもお勧めです。いろいろなお店がありますよ。商店街を抜ければ10分程度で千住キャンパス(本館)に到着です。6階建の美しい建物です。今秋にはグラウンドと3号館も完成予定です。本キャンパスでは生命環境学部、医療科

学部、こども学部の学生諸君が学んでいます。カフェテリアやラウンジからは隅田川とスカイツリーが眺望できます。隅田川の穏やかな流れに癒され、スカイツリーの完成に思いをはせるなど、晴れた日だけでなく楽しませてくれます。カフェテリアでは焼きたてパンの人気の高いようです。私もあんパンを食しました。あんこがたっぷり入って100円、大いに納得いたしました。



真新しい本館校舎



スカイツリーも見える眺望



いつもにぎやかなカフェテリア

## 山梨市キャンパス

少し前まではブドウ畑に囲まれていましたが、今ではすっかりモダンな駅となった「山梨市駅」を降り、5分ほど歩くと山梨市キャンパスに到着します。これまでの「帝京医療福祉専門学校」校舎を改装する方式で、新たに柔道場や義肢装具学実習室、学生ホールなどが作られました。今秋にはキャンパス内に実習施設の接骨院も開院予定です。柔道整復学科の2年次より本キャンパスで学び、柔道整復師を目指すカリキュラムが用意されています。柔道場に足を踏

み入ると凛とした空間が伝わってくるようでした。



柔道場などが整備された学び舎



広々とした学生ホール

## 科大祭 10月9日(土)・10日(日) @ 上野原キャンパス

みなさんこんにちは。今年度大学祭実行委員会委員長の山下です。これから大学祭開催までどうぞよろしくお願いいたします。

今年度のテーマは「輝」です。読み方は「かがやき」です。このテーマには学生の持つ若々しくて眩い輝きと、地域の方たちの成熟された穏やかで包み込むような輝きを大学祭という一箇所に集め、「上野原」という一つの「輝」となり、自分達はこんなにも輝けるんだ!と来場者に見ていただく!!という意図があります。

今回の大学祭の目標は上記のものなのですが、実はもう一つあります。それは「大学生と地域住民の方たちがお互いに興味を持ってもらうこと」です。上野原には何も無いように見えて実は面白いイベントやお店があります。一部を紹介させていただきます。まずはイベントです。6月の初旬に上野原市役所でフリーマーケットがありました。このフリーマーケットにはなんと陶芸家

の方がいらして、自信作を販売していて、私もあまりの素晴らしさに一つ購入してしまいました。そして面白い卵のお店もありました。この卵は鶏の飼料からこだわったもので卵アレルギーを持っていた方がその卵を食べたらアレルギー症状が出なかった…、というような逸話も聞くほどです。

他にもまだまだあるのですが、それはまたの機会に…、ということで。このように、上野原はとても面白い街です!! 学祭委員会一同、心より上野原キャンパスへのお越しをお待ちしております!



後夜祭で充実感で一杯のスタッフとともに

# 新任教員の紹介

22.4.1~22.7.1

### 千住キャンパス

〔生命環境学部〕  
柳澤 綾  
アニマルサイエンス学科/特任助手

〔医療科学部〕  
川井 伸夫  
東京理学療法学科/学科長・教授

高田 治実  
東京理学療法学科/教授

橋本 眞明  
東京理学療法学科/教授

真先 敏弘  
東京理学療法学科/教授

前島 洋  
東京理学療法学科/教授

眞鍋 克博  
東京理学療法学科/准教授

江口 英範  
東京理学療法学科/准教授

大日向 浩  
東京理学療法学科/准教授

菅沼 一男  
東京理学療法学科/講師

松葉 潤治  
東京理学療法学科/講師

宮本 亘  
東京理学療法学科/講師

豊田 輝  
東京理学療法学科/講師

志保井 義忠  
東京柔道整復学科/学科長・教授

大久保 眞人  
東京柔道整復学科/教授

塩川 春彦  
東京柔道整復学科/教授

山内 禎祐  
東京柔道整復学科/教授

市毛 雅之  
東京柔道整復学科/講師

二神 弘子  
東京柔道整復学科/講師

登本 茂芳  
東京柔道整復学科/講師

濱田 淳  
東京柔道整復学科/助教

長谷川 ゆり子  
看護学科設置準備室/教授

〔こども学部〕  
有村 久春  
児童教育学科/教授

村野 芳男  
児童教育学科/教授

梅澤 実  
児童教育学科/教授

河崎 雅人  
児童教育学科/教授

上野 行一  
児童教育学科/教授

小池 守  
児童教育学科/教授

上田 玲子  
児童教育学科/准教授

井筒 紫乃  
児童教育学科/准教授

石橋 裕子  
児童教育学科/准教授

呂 晓彤  
児童教育学科/准教授

旦 直子  
児童教育学科/講師

北 徹朗  
児童教育学科/講師

〔総合教育センター〕  
高岡 浩二  
教授

福田 八重  
助教

### 上野原キャンパス

〔生命環境学部〕  
橋本 慎治  
自然環境学科/講師

福本 幸夫  
アニマルサイエンス学科/教授

村上 洋介  
アニマルサイエンス学科/教授

小林 毅  
アニマルサイエンス学科/教授

渡辺 隆之  
アニマルサイエンス学科/講師

関口 麻衣子  
アニマルサイエンス学科/講師

〔医療科学部〕  
栗川 幹雄  
理学療法学科/講師

〔総合教育センター〕  
植屋 清見  
教授

樽木 靖夫  
准教授

馬場 千秋  
講師

神原 健太郎  
助教

### 山梨市キャンパス

〔医療科学部〕  
天野 達也  
柔道整復学科/教授

竹内 仁  
柔道整復学科/准教授

朝倉 勇人  
柔道整復学科/助教

# 退任教員

22.1.31~22.3.31

Ann Jenkins  
コミュニケーション科目/講師

熊倉 稔 生命環境学部  
生命科学科/教授

板谷 美和 生命環境学部  
アニマルサイエンス学科/特任助手

桐山 希一 医療科学部  
理学療法学科/講師

# 帝京科学大学 上野原キャンパス 公開講座のお知らせ

平成  
22年度

## 県民コミュニティーカレッジ

## 簡単なこども玩具をつくろう(無料)

開催場所：帝京科学大学・大学院棟・4F・図工室

日時	講師・所属	テーマ
8月7日(土) 13:00～16:00	辻 紀子 民芸麦わら細工の店 店主	<b>麦わら張り細工</b> 色紙に染色した麦わらを張り、 季節の花や身近な動物を描きます
8月21日(土) 13:00～16:00	鈴木 百合子 大田区立郷土博物館 麦わらの会 会員	<b>麦わら編み細工</b> 染色した麦わらで馬や葉を作ります
8月28日(土) 13:00～16:00	別府 敏夫 帝京科学大学 教授	<b>シュロの葉細工</b> シュロの葉でバツタを作ります
9月4日(土) 13:00～16:00	別府 敏夫 帝京科学大学 教授	<b>ストロー細工</b> ストローでエビや金魚を作ります
9月11日(土) 13:00～16:00	内田 直子 東京子ども図書館 職員	<b>フェルト細工</b> フェルトで人形を作ります

募集人員：各20名、小学生は保護者同伴のこと

参加申込み先：帝京科学大学・管理係 電話：0554-63-6911（直通）

受付時間：平日 午前9時30分～午後5時

\*持ち物は特に必要ありません。

## 創立20周年記念学術講演会のご案内

創立20周年を記念して千住キャンパスで11月20日(土)に記念学術講演会が開催されます。林良博東京農業大学教授(元東京大学副学長)の特別講演、学生による地域社会活動実践報告会、パネルディスカッションなど

が企画されています。現役やOB/OGの教職員学生のみならず地域の方々のご参加をお待ちしています。詳しくは大学のホームページをご覧ください。

## 編集後記

本年4月に千住キャンパスと山梨市キャンパスが開設され、帝京科学大学の新しい歴史が踏み出されました。ニューズレターもみなさんと本学との架け橋になるべく今年度から年2回の刊行を目指し取り組んでいます。名称もTEIKA

に変更しました。2010夏号をお届けします。学部(学科)紹介を中心に本学の特徴をまとめました。冬号では学生のサークル・社会活動の特集します。どうぞご期待ください。

(ニューズレター部会 三尾真琴)

発行人：帝京科学大学 学長 沖永 莊八

〒120-0045 東京都足立区千住桜木2-2-1 TEL:03-6910-1010(代表)

帝京科学大学ホームページ URL: <http://www.ntu.ac.jp/> E-mail: [tustnews@ntu.ac.jp](mailto:tustnews@ntu.ac.jp)

※ご意見、ご要望をお寄せください。

